

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	浸潤性膵管癌においてE-cadherinを制御するエピジェネティクスの検討		
2. 対象患者	2014年1月から2019年12月までに浸潤性膵管癌に対し当科で外科切除を施行された141例		
3. 対象となる期間	2014年1月1日 ~ 2019年12月31日		
4. 実施診療科等	消化器外科		
5. 研究責任者	氏名	原 裕太郎	所属 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	浸潤性膵管癌とは、膵臓にできる癌の一種であり、治りにくい病気として知られています。治りにくい原因も完全には分かっておらず、手術を行っても治る可能性が低いという問題があります。研究を行うことで、より多くの浸潤性膵管癌を治すことができるようになる可能性があります。		
8. 研究の目的	浸潤性膵管癌の治療を受けた際の情報より、手術の方法や輸血、癌の顕微鏡所見、手術の後の問題、生活習慣病などにより起きた変化などにつき検討し、生命予後を含めた問題点を検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	診療録、血液検査および画像検査を利用し、現病歴、既往歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、画像所見、術式、合併症などの手術関連情報を検討します。病理標本を利用し、癌細胞同士の接着を決めるE-cadherinの発現、RNAおよびDNA変化を解析します。統計学的手法を用いて関連性を見出し、有用点、問題点を明らかにします。		
10. 個人情報の保護	収集する情報には患者さん個人が特定される情報を含みません。研究結果公表の際も同様に個人情報は含まれない形で公表されます。拒否の申し出が合った場合は、対象者から除外しデータを削除します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座 原 裕太郎		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080